

平成29年度全国学力・学習状況調査結果の概要と具体的な取組 和歌山市立高松小学校

1 調査について

- (1) 実施日 平成29年4月18日(火)
- (2) 対象 6年生3学級78名(うち欠席2)
- (3) 目的
 - ①子供の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - ②教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
 - ③学校における子供の教育指導の充実や学習状況の改善を図る。
- (4) 調査
 - ①教科・・・国語、算数
 - ・A問題 基礎・基本の力として身に付けておくべき「知識・技能」の定着を問うもの
 - ・B問題 身に付けた知識を「活用」して、思考・判断・表現し問題解決する力を問うもの
 - ②生活習慣や学校環境に関する質問紙調査
 - ・子供に対する意識調査(全92問)
 - ・学校に対する意識調査(全111問)

2 調査結果の概要

(1) 教科調査

国語

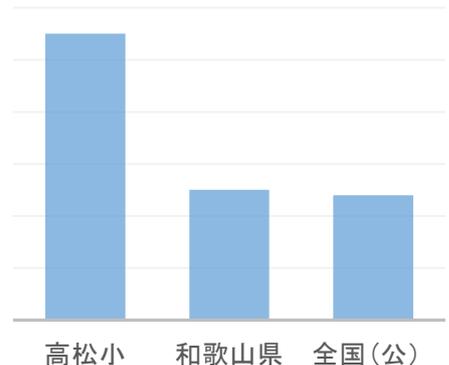
国語の授業において追究課題に迫る「的」を絞り、子供をより深い思考に導いていく取組を行っています。国語Bでは、課題を明確にして集団で考えを広げたり、熟考してまとめたりするという授業研究・スタイルを積み上げてきた成果があがっているといえます。

A問題

総体的に、よくできています。

- (1) 漢字を読む・書く・・・大変よくできています。今後も家庭学習と小テスト等により、日常的に定着を図っていきます。
- (2) 目的に応じて文章の中から必要な情報を取り出す・・・よくできています。平素の国語科の授業において、大切なことに着目して読む指導を行っている成果と考えます。
- (3) 古文の言葉の響きやリズムを楽しみながら読む・・・大変よくできています。暗唱などの取組による日本語の美しい響きに慣れ親しんでいる成果かと考えます。

国語 A

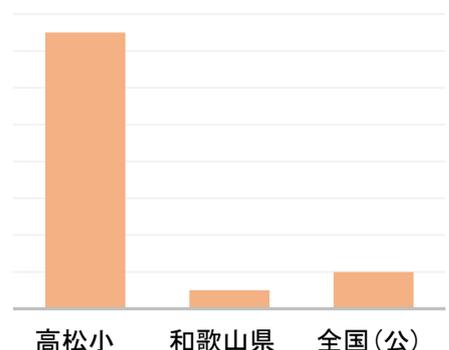


B問題

総体的に、大変よくできています。

- (1) 話す・聞く・・・スピーチメモを活用する良さや話の構成の工夫について理解する問題では、全国を23%も上回る高い正答率でした。目的や意図に応じて話の構成や内容を工夫することができています。
- (2) 書く・・・目的や意図に応じて文章全体の構成を考えたり、必要な内容を引用したり整理したりして書く力が身についています。
- (3) 読む・・・物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる力が身についています。

国語 B



算数

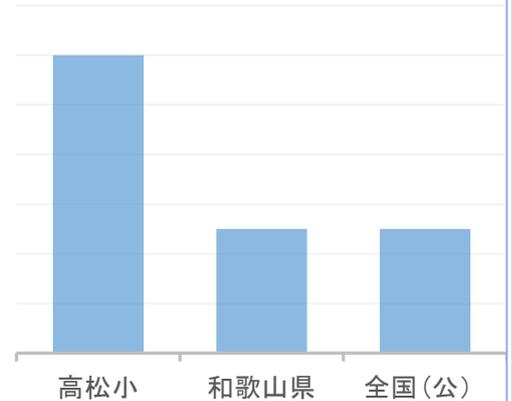
算数の4領域ともバランスよく基礎的・基本的な力が身につけているといえます。今後も、日常的に算数の授業において、低学年から高学年まで算数的活動を通じた学習を重点的に行い、論理を導く言葉を使って自分の考えを筋道立てて書く経験を積み重ねさせ、論理的思考力を培っていきます。

A問題

総体的に、よくできています。

- (1) 式と計算、量と測定、図形、数量関係・・・4領域とも、バランスよく基礎・基本の力が付いています。今後も日常の授業及び家庭学習との連携により定着を図っていきます。
- (2) 加法減法の混合した小数の計算、数量や図形についての知識・理解では、全国平均15%以上上回る高い正答率でした。
- (3) 無回答率は0%であり、あきらめず意欲的に問題に取り組んだと言えます。たかまつの子供の底力が表れています。おおいに褒めたいです。

算数 A

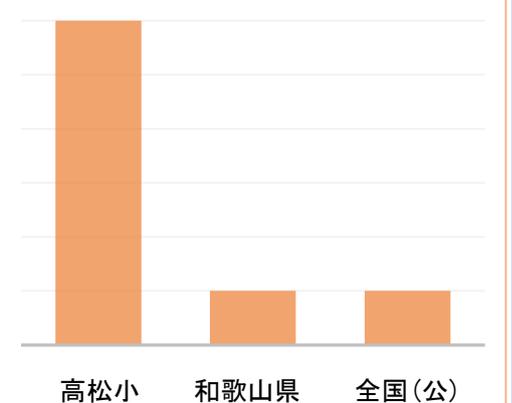


B問題

総体的に、大変よくできています。

- (1) 数学的な考え方の領域では、根拠を明らかにして考えを書いたり、示された情報から必要なことを取り出して考え、答えを導いたりすることができています。
- (2) とりわけ記述式の問題において、すべての設問で全国を大きく上回る高い正答率となっています。「**か**んがえる子供」が育っていることをうれしく思います。
- (3) 「考える子供」の育成は、高松小学校の重点目標の一つです。今後も、ペアやグループによる学び合いの授業スタイルも取り入れながら、すべての学年においてロジカルシンキングを育む算数授業を意図的・計画的に行っていきます。

算数 B

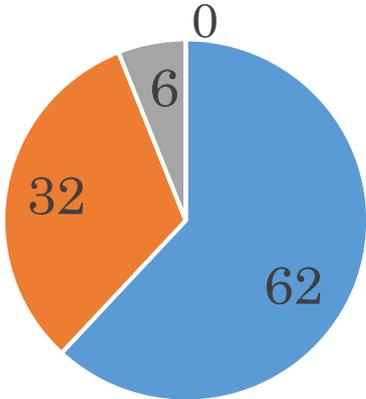


児童生徒質問紙 1

肯定意見が全国平均を顕著に上回ったものを抜粋しています。

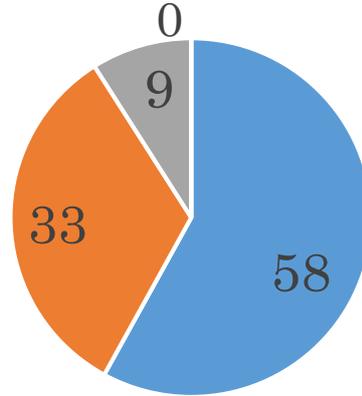
□(青)・・・当てはまる
 □(オレンジ)・・・どちらかといえば当てはまる
 □(グレー)・・・どちらかといえば当てはまらない
 □(黄色)・・・当てはまらない

(1) 自分にはよいところがあると思いますか。



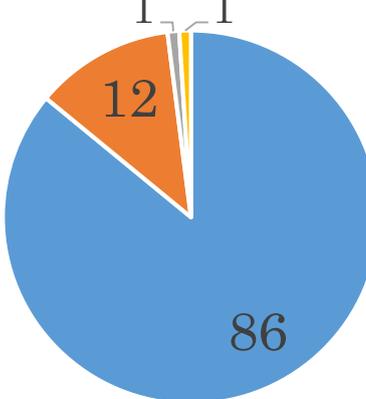
全肯定は、全国より 23 ポイントも上回っています。自己肯定感を持ち、意欲的に生活できていると思われま

(2) 友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができますか。



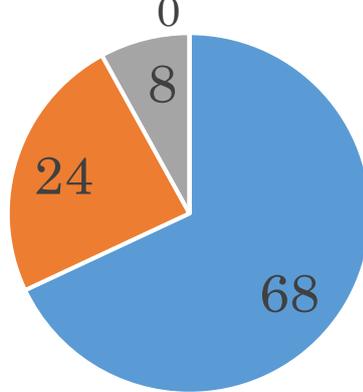
全肯定は、全国より 15 ポイント上回っています。授業で、友達の考えを大切に聴く「聴き方のあいうえお」を徹底して指導している成果と思われま

(3) 将来の夢や目標を持っていますか。



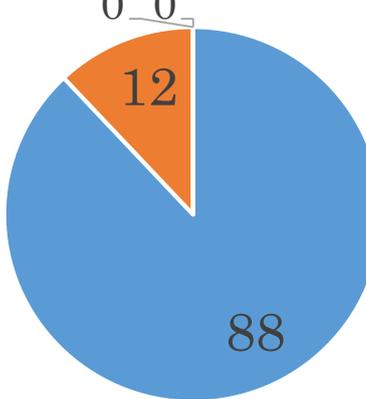
全肯定は、全国より 16 ポイント上回っています。夢を描き、明るい未来に向かって歩いていく力を育みたいで

(4) 家の人と学校での出来事について話をしますか。



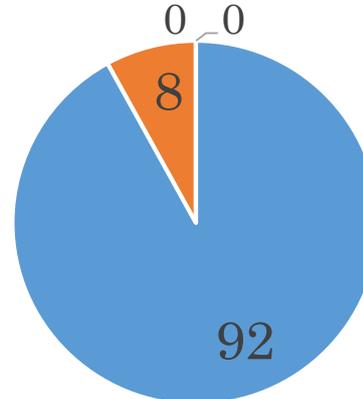
全国より 14 ポイント上回っています。学校での出来事、友達との楽しい会話、先生の話などで家族のだんらん

(5) 学校に行くのは楽しいと思いますか。



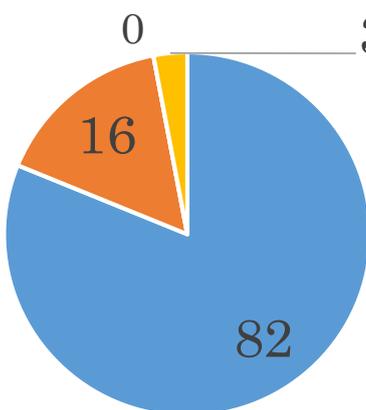
実に全国を 32 ポイント上回り、全質問の中でも際立っています。「**た**のしい学校」創りの実現に向けて、子供も大人も力を合わせて取り組んできた結果とうれしく思

(6) 学校で好きな授業がありますか。



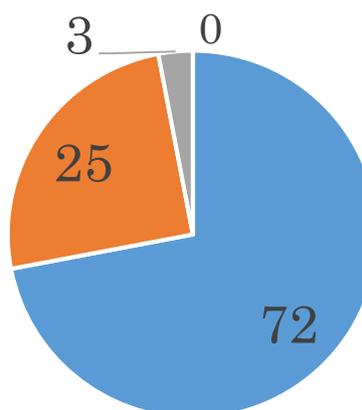
すべての子供が好きな授業があると答えています。子供にとって「**た**のしい授業」をすることは、教育の基本です。本校の研究の柱の一つは「子供が心揺り動かす単元構想」を練ること

(7) 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。



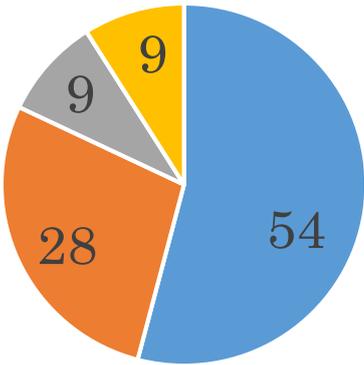
友達とともに力を合わせ、やり遂げる喜びを味わわせることは、人間を育成するという使命を担う学校教育の重要な目的の一つです。全国より、14 ポイント上回っています。

(8) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。



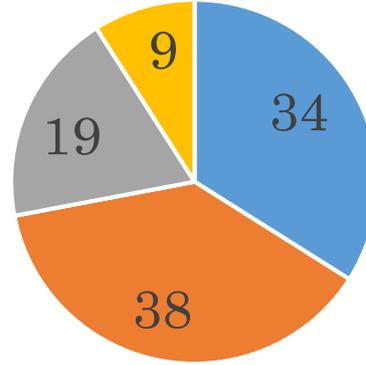
「ほめてほめて育てる。」が、たかまつ教育に携わる者の信念です。子供のよさを見つめ、認め、ほめ、励まし伸ばさせていく。そのような教育の営みを今後も真摯に続けていきます。全国より 25 ポイント上回ります。

(9) 今住んでいる地域の行事に参加していますか



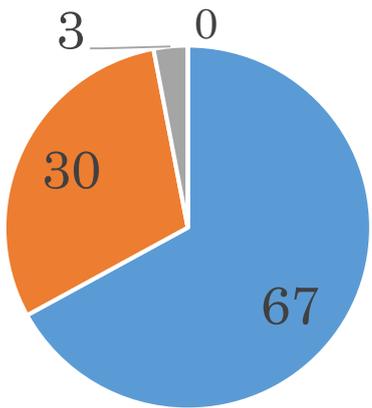
過去3年の調査で、ずっと全国を下回っていた設問です。今回、初めて全国を19ポイントも上回りました。地域との連携を進めてきた成果と言えます。

(10) 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか



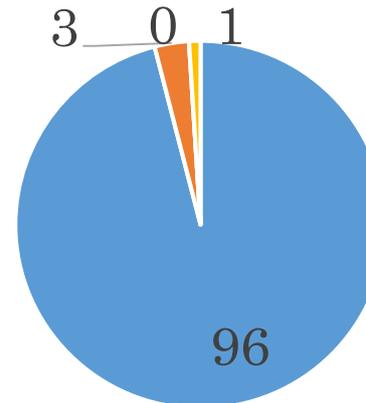
全国を19ポイント上回っています。「防災チャレンジャー」の取組等で、自分たちができることを考え追究した経験が生きているものと考えます。

(11) 人が困っているときは、進んで助けますか



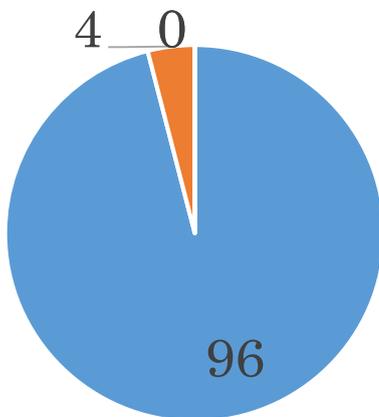
全国を28ポイント上回り非常に高い意識を持っているといえます。実生活のたて割り活動などでも小さい子を支援手助けする姿がよく見られます。

(12) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



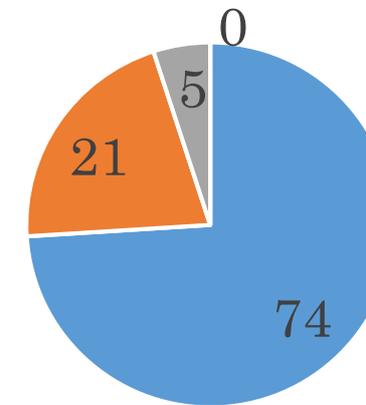
全国を15ポイント上回っています。今後も「いじめ0」をめざし、心の教育を行っていきます。「**ま**ことの言葉」を大切にし、人と人との真に温かいつながりを深めさせていきたいと思えます。

(13) 人の役に立つ人間になりたいと思えますか



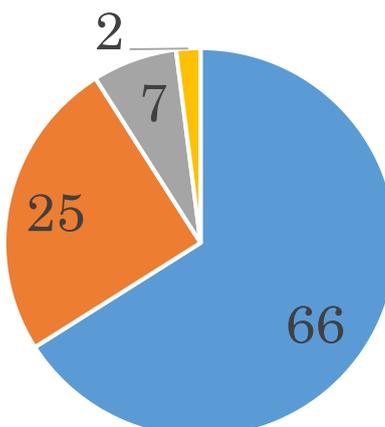
全国を28ポイントも上回っているうれしい結果です。日本一のとくまつの子供らしい心根を感じ、校長として誇らしく、子供たちを一層愛しく思います。

(14) 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思えますか



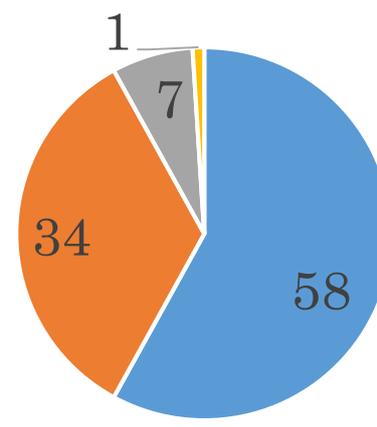
全国を21ポイント上回っています。子供の考えを大切に、子供同士で話し合い、課題を解決するていねいな授業づくりを進めている成果と考えます。

(15) 授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思えますか



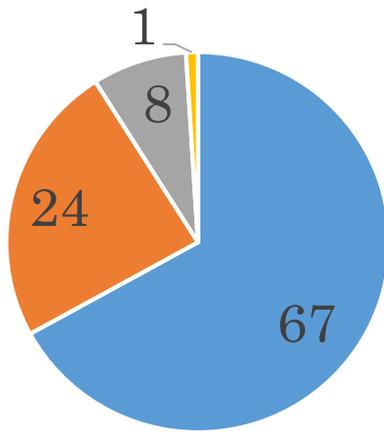
全国を31ポイントも上回っているうれしい結果です。「防災チャレンジャー」などで、地域の方と一緒に考え、学んだ学習活動を展開した成果が表れています。「**な**ながる心」で、今後も開かれた教育活動を行っていきます。

(16) 国語の授業の内容はよく分かりますか



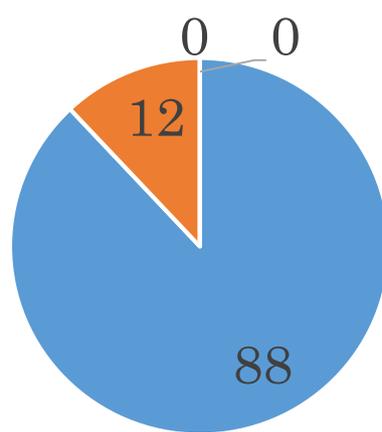
全国を19ポイント上回っています。国語の研究校として、今後も「子供が心揺り動かせる楽しい授業、話し合いの追求活動から『的』を洞察し絞り、より深い思考へと導く授業づくり」を真摯に求めています。

(17) 算数の授業の内容はよく分かりますか



全国を19ポイント上回っています。問われていることを明確にし、個人思考の時間を十分に確保し低学年から高学年まで算数的活動を通じた学習を重点的に行い、論理を導く言葉を使って自分の考えを筋道立てて書く経験を積み重ねさせ、論理的思考力を培っています。

(18) 学校で友達に会うのは楽しいと思いますか。



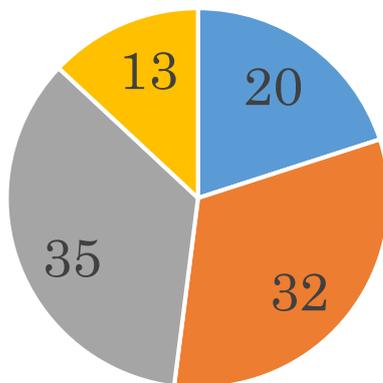
100%の子供が学校で友達と会うことを楽しいと感じています。つながる心が育っていると感じます。全国を8ポイント上回っています。

児童生徒質問紙2

肯定意見が全国平均を下回ったものを抜粋しています。

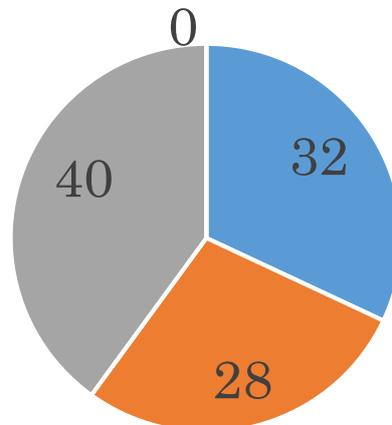
□(青)・・・当てはまる
 □(オレンジ)・・・どちらかといえば当てはまる
 □(グレー)・・・どちらかといえば当てはまらない
 □(黄色)・・・当てはまらない

(1) 家で、学校の授業の復習をしていますか



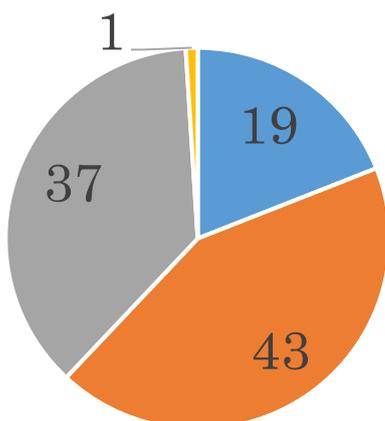
全国を4ポイント下回っています。宿題以外に復習をする自学については、子供の負担にならない範囲で考えていきたいと思っています。

(2) 地域社会などで、ボランティア活動に参加したことはありますか



全国を3ポイント下回っています。市民一斉清掃などに、親子で参加する機会を設け、地域社会への参画の意識を涵養していくことが大切ですね。

(3) 国語の授業などで意見を発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか



全国を3ポイント下回っています。友達のどんな考えや意見も受け入れていく姿勢を大切にしているためかとも思われます。よりよく伝わるよう工夫して話を組み立てる力を涵養していきます。

今回の調査では、全国を下回ったものはこの3つになります。

た

のしい授業

1 めあて

この授業で何を考えるのか子供に学習の「めあて」を明確に示す。

2 まと（的）

今、「話し合いの中心は何か」に気付かせ、授業の山場を創っていく。

3 聞く耳

本当に考えさせるために、一瞬たりとも友達の発言を聞き逃がさせない。

4 すてき見つけ

何よりもまず、一人一人の子供のすてきを見つけて、ほめ続ける。

か

んがえる子ども

1 アクティブ ラーニング

- ・書いて（描いて）考えさせる。
- ・比べて考えさせる。
- ・試行錯誤させ、壁を乗り越える経験をさせる。

2 自学・省察

自らの生活体験、間接体験、既習事項などを引き出して考察する習慣づけをする。

3 ほめる

いい学びの姿をほめ、伸ばし、認め合う教室の空気を創る。

ま

ここの言葉

1 心育て

国語の文学教材を通し人の気持ちに寄り添う経験を積み重ねさせる。

2 向き合う

一番伝えたい気持ちは何か、自らの心に向き合い問いかける静かなひとこまを設定する。

3 まこと

子供のまことを見つめ続け、教師もまことの言葉で語りかける。

つ

ながる心

1 開く

学校を開いて、多様な人々の考えを知る。知恵と能力を取り入れる。

2 知る

- ・友だちのことを知る
- ・社会のことを知る
- ・自然とのかかわりを知る
- ・身近な人々のことを知る
- ・生きるということについて知る

3 つながる

地域と保護者と学校が手を取り合い、子供のために歩む。

子供を見つめ、ほめ、それを学級の皆で共有し認め合う。子供は安心してまことの言葉で、自分の考えを、想いを語り出す。そんな学び合う学級、高め合う集団を創っていくことこそが学力向上への第1歩であると考えます。それが、普段の授業で教師が取り組んでいく「しごと」であると考えます。

基礎・基本的な事項の定着は、学校と家庭で協力し合って積み上げていきましょう。今後もよろしく願いいたします。

